



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月1日

上場会社名 GMB株式会社

上場取引所 東

コード番号 7214 URL <https://www.gmb.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 誠

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 善田 篤志

TEL 0745-44-1911

四半期報告書提出予定日 2021年11月5日

配当支払開始予定日

2021年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	35,578	41.4	400		733		345	
2021年3月期第2四半期	25,162	16.6	854		1,001		521	

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,209百万円 ( %) 2021年3月期第2四半期 1,889百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	65.66	
2021年3月期第2四半期	99.54	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	69,032	28,778	30.1	3,938.94
2021年3月期	63,612	27,596	31.4	3,801.89

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 20,759百万円 2021年3月期 19,985百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期		10.00			
2022年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	23.7	800		900		100		19.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	5,271,794 株	2021年3月期	5,258,052 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2022年3月期2Q	1,360 株	2021年3月期	1,360 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	5,262,474 株	2021年3月期2Q	5,240,338 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料については、決算説明会の開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報) .....	11
3. 補足情報 .....	12
2021年3月期 第2四半期決算短信 補足説明資料 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループは、新型コロナウイルス感染症による世界経済の先行きは不透明感が漂うものの、前連結会計年度の後半より需要は回復傾向にあり、加えて韓国で電動ウォーターポンプなど新製品の開発や販路拡大を進めるなどしたほか、生産性の改善やコスト削減などの競争力強化に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が35,578百万円（前年同四半期比41.4%増）、営業利益は400百万円（前年同四半期は854百万円の損失）となり、経常利益は733百万円（前年同四半期は1,001百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は345百万円（前年同四半期は521百万円の損失）となりました。

主要な品目分類別の販売状況を説明しますと、次のとおりであります。

駆動・伝達及び操縦装置部品部門は、海外補修用部品市場や欧州の新車用部品市場におけるユニバーサルジョイントに加えて、韓国・中国の新車用部品市場におけるバルブスプール、等速ジョイントの販売が増加したことなどにより、売上高は18,659百万円（前年同四半期比49.7%増）となりました。

エンジン部品部門は、韓国で電動ウォーターポンプの販路拡大を進めるなどしたほか、海外補修用部品市場におけるウォーターポンプの販売も増加したことなどにより、売上高は11,321百万円（同31.3%増）となりました。

ベアリング部門は、海外補修用部品市場におけるテンショナー・アイドラー・ベアリングの販売が増加したことなどにより、売上高は5,094百万円（同27.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当社は、製造、販売体制を基礎とした拠点の所在地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「韓国」、「中国」、「タイ」、「欧州」及び「豪州」の7つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、自動車部品を製造、販売しております。

#### ① 日本

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた需要は前連結会計年度の後半より回復傾向にあり、海外における補修用部品市場での販売や欧州の新車用部品市場におけるユニバーサルジョイントの輸出が増加したことなどの結果、売上高7,514百万円（前年同四半期比53.0%増）、セグメント利益268百万円（同5,271.7%増）となりました。

#### ② 米国

連結子会社のGMB NORTH AMERICA INC.において取扱製品の拡大などにより販売が増加した一方で、輸入関税引き上げによる費用増加などの結果、売上高3,655百万円（前年同四半期比21.6%増）、セグメント損失438百万円（前年同四半期は169百万円の損失）となりました。

#### ③ 韓国

連結子会社のGMB KOREA CORP.において電動ウォーターポンプの販売が増加したことに加えて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた需要は前連結会計年度の後半より回復傾向にあり、新車用部品市場におけるバルブスプールや等速ジョイントの販売が増加したことなどの結果、売上高20,827百万円（前年同四半期比39.2%増）、セグメント利益388百万円（前年同四半期は682百万円の損失）となりました。

#### ④ 中国

製造拠点である連結子会社3社及び調達・物流拠点の連結子会社1社において、同様に需要は前連結会計年度の後半より回復傾向にあり、新車用部品市場におけるバルブスプールや等速ジョイントの販売が増加するなどした結果、売上高2,205百万円（同59.5%増）、セグメント利益354百万円（同269.2%増）となりました。

#### ⑤ タイ

タイ国内向けの販売に加えて、グループ間製品の出荷量も増加するなどした結果、売上高294百万円（同35.7%増）、セグメント利益43百万円（同1,384.1%増）となりました。

#### ⑥ 欧州

欧州の新車用部品市場においてウォーターポンプの販売が増加するなどしたことの一方で、新工場への移転を含む設備や人員にかかる費用などの増加の結果、売上高1,208百万円（同36.0%増）、セグメント損失69百万円（前年同四半期は27百万円の損失）となりました。

#### ⑦ 豪州

前々連結会計年度に設立した新拠点において、前年第3四半期より本格的な販売活動を開始した結果、売上高55百万円（前年同四半期は0百万円）、セグメント損失28百万円（前年同四半期は35百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が757百万円（前年同四半期は1,035百万円の損失）、減価償却費が1,598百万円（前年同四半期比3.9%増）、短期・長期借入金、社債、リースを合わせた有利子負債残高の増加額が1,596百万円（同33.2%増）となるなどの一方で、棚卸資産の増加額が1,687百万円（同61.5%増）、設備投資による有形固定資産の取得による支出が1,851百万円（同63.3%増）となったことなどの結果、期末残高は506百万円増加して6,799百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は320百万円（前年同四半期比1,317.4%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が757百万円（前年同四半期は1,035百万円の損失）、減価償却費が1,598百万円（前年同四半期比3.9%増）となるなどの一方で、棚卸資産の増加額が1,687百万円（同61.5%増）、売上債権の増加額が510百万円（前年同四半期は2,641百万円の減少）、為替差益が289百万円（前年同四半期は70百万円の為替差損）となったことなどによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,070百万円（前年同四半期比16.8%減）となりました。これは主に、設備投資による有形固定資産の取得による支出が1,851百万円（同63.3%増）となるなどの一方で、韓国内での投資に対する公的な補助金による収入が877百万円となったことなどによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は1,596百万円（同49.5%増）となりました。これは、短期・長期借入金、社債、リースを合わせた有利子負債残高の増加額が1,596百万円（同33.2%増）となったことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期連結業績予想につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,377,301	7,970,617
受取手形及び売掛金	14,451,791	15,337,645
商品及び製品	6,725,437	7,625,437
仕掛品	4,864,956	5,361,062
原材料及び貯蔵品	2,741,389	3,747,541
未収還付法人税等	1,550	8,598
その他	1,249,410	1,521,592
貸倒引当金	△173,058	△113,536
流動資産合計	37,238,780	41,458,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,217,320	6,419,993
機械装置及び運搬具（純額）	10,651,287	11,403,299
土地	5,577,748	5,645,020
建設仮勘定	684,389	554,978
その他（純額）	485,067	555,415
有形固定資産合計	23,615,813	24,578,707
無形固定資産		
その他	214,374	386,601
無形固定資産合計	214,374	386,601
投資その他の資産		
投資有価証券	617,653	626,523
繰延税金資産	826,600	977,685
その他	1,287,617	1,219,730
貸倒引当金	△187,877	△215,359
投資その他の資産合計	2,543,993	2,608,580
固定資産合計	26,374,181	27,573,889
資産合計	63,612,961	69,032,847

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,048,401	7,228,025
短期借入金	12,856,430	16,202,641
1年内返済予定の長期借入金	2,847,801	2,133,559
1年内償還予定の社債	452,200	552,570
未払法人税等	232,356	382,764
賞与引当金	179,174	189,624
製品保証引当金	491,005	442,394
その他	2,517,639	3,704,450
流動負債合計	26,625,009	30,836,029
固定負債		
社債	2,131,800	2,003,066
長期借入金	3,834,469	3,588,174
繰延税金負債	573,558	627,040
退職給付に係る負債	2,144,759	2,537,137
その他	707,332	662,630
固定負債合計	9,391,919	9,418,049
負債合計	36,016,929	40,254,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	855,743	863,390
資本剰余金	1,027,647	1,035,294
利益剰余金	16,973,086	17,276,834
自己株式	△2,447	△2,447
株主資本合計	18,854,029	19,173,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,671	9,376
為替換算調整勘定	1,015,649	1,477,784
退職給付に係る調整累計額	107,012	99,703
その他の包括利益累計額合計	1,131,334	1,586,865
非支配株主持分	7,610,668	8,018,830
純資産合計	27,596,032	28,778,767
負債純資産合計	63,612,961	69,032,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	25,162,704	35,578,767
売上原価	21,396,788	29,770,553
売上総利益	3,765,916	5,808,213
販売費及び一般管理費	4,620,265	5,407,593
営業利益又は営業損失(△)	△854,348	400,620
営業外収益		
受取利息	11,485	14,183
為替差益	171,296	205,513
貸倒引当金戻入額	17,545	-
製品保証引当金戻入額	2,205	-
持分法による投資利益	-	18,220
デリバティブ評価益	-	158,336
その他	143,129	201,463
営業外収益合計	345,662	597,716
営業外費用		
支払利息	214,652	173,120
手形売却損	55,289	46,624
持分法による投資損失	20,738	-
デリバティブ評価損	184,485	-
その他	17,915	45,359
営業外費用合計	493,082	265,104
経常利益又は経常損失(△)	△1,001,768	733,232
特別利益		
固定資産売却益	4,297	32,839
特別利益合計	4,297	32,839
特別損失		
固定資産売却損	28,199	7,747
固定資産除却損	0	864
減損損失	10,228	-
特別損失合計	38,427	8,611
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,035,898	757,460
法人税等	△157,915	295,308
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△877,982	462,151
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△356,369	116,602
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△521,613	345,549

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△877,982	462,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,035	704
為替換算調整勘定	△920,115	752,115
退職給付に係る調整額	△1,040	△7,308
持分法適用会社に対する持分相当額	△89,342	1,577
その他の包括利益合計	△1,011,533	747,089
四半期包括利益	△1,889,516	1,209,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,187,543	801,080
非支配株主に係る四半期包括利益	△701,972	408,161

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,035,898	757,460
減価償却費	1,537,851	1,598,280
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,002	△56,022
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,350	10,450
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	131,349	332,064
製品保証引当金の増減額(△は減少)	86,856	△62,370
受取利息及び受取配当金	△13,987	△18,744
支払利息	214,652	173,120
為替差損益(△は益)	70,806	△289,857
デリバティブ評価損益(△は益)	184,485	△158,336
有形固定資産除売却損益(△は益)	23,901	△24,228
減損損失	10,228	-
持分法による投資損益(△は益)	20,738	△18,220
売上債権の増減額(△は増加)	2,641,411	△510,677
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,045,164	△1,687,655
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,325,023	△96,834
その他	△203,249	70,410
小計	286,603	18,839
利息及び配当金の受取額	82,696	17,950
利息の支払額	△214,848	△157,461
法人税等の支払額	△177,065	△199,862
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,613	△320,534
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△541,186	△609,899
定期預金の払戻による収入	487,000	707,705
投資有価証券の売却による収入	-	7,255
有形固定資産の取得による支出	△1,133,508	△1,851,007
有形固定資産の売却による収入	20,983	69,163
無形固定資産の取得による支出	△37,682	△186,094
無形固定資産の売却による収入	1	-
貸付けによる支出	-	△67,480
貸付金の回収による収入	3,692	32,490
補助金の受取額	-	877,240
その他	△86,747	△50,358
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,287,448	△1,070,986

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	12,387,148	20,858,306
短期借入金の返済による支出	△11,711,399	△17,944,065
長期借入れによる収入	714,048	915,105
長期借入金の返済による支出	△1,049,144	△1,980,528
社債の発行による収入	2,156,457	-
社債の償還による支出	△1,213,007	△204,247
リース債務の返済による支出	△85,717	△47,945
配当金の支払額	△104,638	-
非支配株主への配当金の支払額	△25,782	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,067,963	1,596,626
現金及び現金同等物に係る換算差額	△124,582	301,811
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△366,681	506,916
現金及び現金同等物の期首残高	5,223,680	6,292,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,856,998	6,799,364

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年6月18日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、2021年7月16日付で新株式を13,742株発行いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ7,647千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が863,390千円、資本剰余金が1,035,294千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を使用できない場合は、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、買戻し契約に該当する有償支給取引については、従来は支給先から受け取る対価を収益として認識しておりましたが、当該収益を認識しない方法に変更しております。加えて、販売手数料等の顧客に支払われる対価については、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、売上高から控除する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は32,123千円減少し、売上原価は2,943千円増加し、販売費及び一般管理費は75,878千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ40,812千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は47,157千円減少しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の会計上の見積りに与える影響)

当第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症による世界経済の先行きは不透明感が漂うものの、当社グループにおいて、前連結会計年度の後半より需要は回復傾向にあります。世界の自動車産業も全般的には需要の回復傾向の継続が見込まれることも踏まえ、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大による影響は不確定要素が多いことから、将来の連結財務諸表に影響を及ぼす可能性があり、今後の動向を引き続き注視しております。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	韓国	中国	タイ	欧州	豪州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高										
(1) 外部顧客への 売上高	4,911,030	3,006,900	14,967,399	1,382,671	217,300	888,445	502	25,374,250	△211,546	25,162,704
(2) セグメント間 の内部売上 高又は振替高	601,234	-	1,255,946	2,609,588	1,175,013	-	-	5,641,783	△5,641,783	-
計	5,512,265	3,006,900	16,223,346	3,992,259	1,392,314	888,445	502	31,016,034	△5,853,330	25,162,704
セグメント利益 又は損失(△)	4,990	△169,880	△682,857	96,025	2,925	△27,461	△35,517	△811,776	△42,571	△854,348

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額△211,546千円は、内部売上高で消去できなかった取引差額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額△42,571千円は、セグメント間取引消去28,869千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△71,441千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、連結子会社吉明美汽配(南通)有限公司の固定資産の収益性の低下により、「中国」セグメントにおいて10,228千円の減損損失を計上しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	日本	米国	韓国	中国	タイ	欧州	豪州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高										
駆動・伝達及び操 縦装置部品	4,549,701	245,666	12,284,997	1,534,467	136,977	-	3,405	18,755,215	△95,628	18,659,587
エンジン部品	2,102,112	2,601,720	5,065,065	197,310	157,981	1,208,039	47,224	11,379,454	△58,427	11,321,026
ベアリング	862,537	329,580	3,475,489	449,654	-	-	4,030	5,121,291	△26,346	5,094,944
その他	410	478,822	1,753	23,589	-	-	1,287	505,863	△2,654	503,208
顧客との契約から 生じる収益	7,514,762	3,655,790	20,827,305	2,205,020	294,959	1,208,039	55,947	35,761,824	△183,057	35,578,767
(1) 外部顧客への 売上高	7,514,762	3,655,790	20,827,305	2,205,020	294,959	1,208,039	55,947	35,761,824	△183,057	35,578,767
(2) セグメント間 の内部売上 高又は振替高	688,914	-	1,673,991	4,257,198	1,503,377	5,941	-	8,129,424	△8,129,424	-
計	8,203,677	3,655,790	22,501,297	6,462,219	1,798,336	1,213,981	55,947	43,891,249	△8,312,482	35,578,767
セグメント利益 又は損失(△)	268,046	△438,897	388,847	354,524	43,412	△69,756	△28,740	517,436	△116,816	400,620

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額△183,057千円は、内部売上高で消去できなかった取引差額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額△116,816千円は、セグメント間取引消去△26,543千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△90,272千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## 2022年3月期 第2四半期決算短信 補足説明資料

## (1) 連結業績概要

(単位:百万円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
売上高	13,851	11,310	14,841	17,405	17,380	18,198		
営業利益 (同利益率)	△83 (△0.6%)	△770 (△6.8%)	△336 (△2.3%)	1,107 (6.4%)	294 (1.7%)	105 (0.6%)		
経常利益 (同利益率)	△36 (△0.3%)	△965 (△8.5%)	△377 (△2.5%)	958 (5.5%)	395 (2.3%)	337 (1.9%)		
税引前四半期純利益 (同利益率)	△60 (△0.4%)	△974 (△8.6%)	△391 (△2.6%)	931 (5.3%)	417 (2.4%)	339 (1.9%)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (同利益率)	△93 (△0.7%)	△427 (△3.8%)	△210 (△1.4%)	416 (2.4%)	203 (1.2%)	141 (0.8%)		

## (2) キャッシュ・フロー関連

(単位:百万円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
営業CF	△205	182	1,862	1,111	△624	303		
投資CF	△598	△688	△689	166	△38	△1,032		
財務CF	1,578	△510	△902	29	1,987	△390		
設備投資額	590	897	534	609	1,100	863		
減価償却費	770	767	805	850	763	834		

## (3) 製品の品目分類別売上高

(単位:百万円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
駆動・伝達及び操縦装置部品	7,067	5,394	7,893	9,532	9,245	9,414		
エンジン部品	4,667	3,954	4,799	5,297	5,478	5,842		
ベアリング	2,072	1,927	2,096	2,365	2,326	2,767		
その他	44	33	52	209	329	173		
計	13,851	11,310	14,841	17,405	17,380	18,198		

## (4) セグメント別売上高 (外部顧客に対する売上高)

(単位:百万円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
日本	2,461	2,449	3,170	3,804	3,408	4,106		
米国	1,655	1,351	1,642	1,466	2,039	1,616		
韓国	8,498	6,469	8,387	10,016	10,126	10,701		
中国	567	814	912	1,288	1,126	1,078		
タイ	129	87	118	127	144	150		
欧州	603	284	593	639	581	626		
豪州	-	0	6	13	22	33		
調整額	△64	△146	10	48	△68	△114		
計	13,851	11,310	14,841	17,405	17,380	18,198		

## (5) セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
日本	△10	15	42	237	76	191		
米国	△119	△49	△21	△64	△62	△376		
韓国	104	△787	△358	634	213	175		
中国	29	66	2	348	180	174		
タイ	38	△35	10	14	66	△22		
欧州	4	△31	△17	△13	△51	△18		
豪州	△16	△18	△15	△13	△15	△13		
調整額	△112	70	19	△34	△112	△4		
計	△83	△770	△336	1,107	294	105		